

復興へ向けて

One for All, All for One

中同協東日本大震災復興
対策本部ニュース No.1

発行日：2011年3月17日

発行：中小企業家同友会全国協議会(中同協)

3月11日午後2時46分に東北地方を中心に太平洋沖に起きた大地震とその後の太平洋側を襲った津波は街を壊滅させるなど計り知れない被害をもたらしています。またその後の福島原子力発電所の爆発など2次被害も深刻です。被害が集中している岩手、宮城、福島を中心に被害に遭われた東日本の会員企業や従業員・ご家族の皆様には心からお見舞い申し上げます。

中同協として14日に東日本大震災復興対策本部を設置し、全国の同友会に「東日本大震災被災義援金」活動の取り組みを呼びかけ、中同協としても直接会員の皆さんに募金をお願いしました。また、新潟、山形両同友会の奮闘で日本海側からの支援物資の提供ルートを確認。また青森同友会の協力で北側からの提供ルートも確保し、各同友会から続々と寄せられている支援物資を送りどけています。またたく間にこのような支援体制が確立できたのも、同友会の全国ネットワークと連帯によるもので、まさに今、同友会の真価を発揮し、復興に向けた被災地の皆さんを励ましています。

復興対策本部として、今号から会員の皆さんにニュースをお送りし、被災地の復興の様子をお伝えするとともに、みなさまからのご支援の様子も紹介していきたいと考えております。なお、ホームページ DOYUNET <http://www.doyu.jp/> では、同友会関連の支援や被災状況、復興様子などを随時掲載しておりますので参照ください。

ご支援いただいている皆様には心からお礼申し上げますとともに、今後のご支援も引き続きよろしくお願いいたします。

中同協東日本大震災復興対策本部 本部長 広浜泰久(中同協幹事長)

義援金 3月16日現在
185件 6,642,585円

*中同協に直接振り込まれている額

支援物資

*現段階では生活に必要な物資が中心

- ・毛布 2000枚
- ・水 ペットボトル 3000本
- ・マスク 50000枚
- ・カセットコンロ
- ・携帯用カイロ
- ・コート
- ・セーターなど衣類
- ・消毒剤

その他、多数ご支援いただいています

激甚災害の指定及び被災中小企業者 対策について【経済産業省】

1. 災害関係保証の発動
2. 小規模企業向けの設備資金融資の償還期間の延長
3. 事業協同組合等の施設の災害復旧事業に係る補助
4. 災害復旧貸付の金利引下げ

*詳細は DOYUNET「関連情報」で。

街の再生は我々がやるんだ

被災地から【岩手】菊田哲事務局長の発信

会員のほとんどの安否が判明し、気仙支部の13名を残すのみとなりました。気仙支部の安否判明は80名中67名。携帯電話もつながらず、電気もない。しかも離ればなれになった数十カ所の避難所をつなぐ情報は全くない。そんな中、たった5日でそこまで見えて来ました。

今日も電話が相次ぎました。陸前高田の30歳の材木店後継者村上さん。震災当日から確かな消息がわからなかった一人です。気仙の仲間を一人ひとり訪ね歩いていました。「事務局に電話をしたかったけど、みんなのことが心配で、とにかく歩き回っていた。心配かけてごめん」電話を取った気仙支部担当事務局員は、ただ声を上げて泣くばかりでした。

「全国からももの凄いの量の救援物資を集めてくださっています。いよいよ明日岩手にも入ります。19日にはみんなでいきますから待っててください」冷静さを装って電話してきた村上さんも、それを聞いて声になりませんでした。一人で本当に本当につらかったんだろうな。我慢してきた気持ちが電話を通して伝わってきました。昨日の避難所でも、手を握った瞬間に涙が溢れてきた女性経営者がいました。普段は笑顔一杯の彼女がです。私たちは手を握ること、言葉をかけることしかできません。でもそれが、何よりも生きる力になるのだと思います。...

*続きは、DOYUNET「東日本大震災情報」の「各同友会の取り組み」をご覧ください。